

教材教員名	くす玉	分類	授業
		授業名	生活科 (小学部)
ねらい	・誕生日会のくす玉割りが簡単にでき、みんなでお祝いができるようにする。		

教材教具の概要

<使用方法>

- ・誕生日会の主役がくす玉を割り、みんなでお祝いでする。

<材料>

- ・ざる、鈴、ガムテープ、リボン、磁石、タコ糸、持ち手、金の模造紙やラッピングペーパー

<工夫点>

- ・留めるところを磁石にしたことで、何度もすぐに繰り返し使用できる。
- ・鈴を付けて音が鳴るようにした。
- ・持ち手を付けることで握りやすくした。
- ・持ち手をプラスチック素材にしたことで消毒をしやすくした。

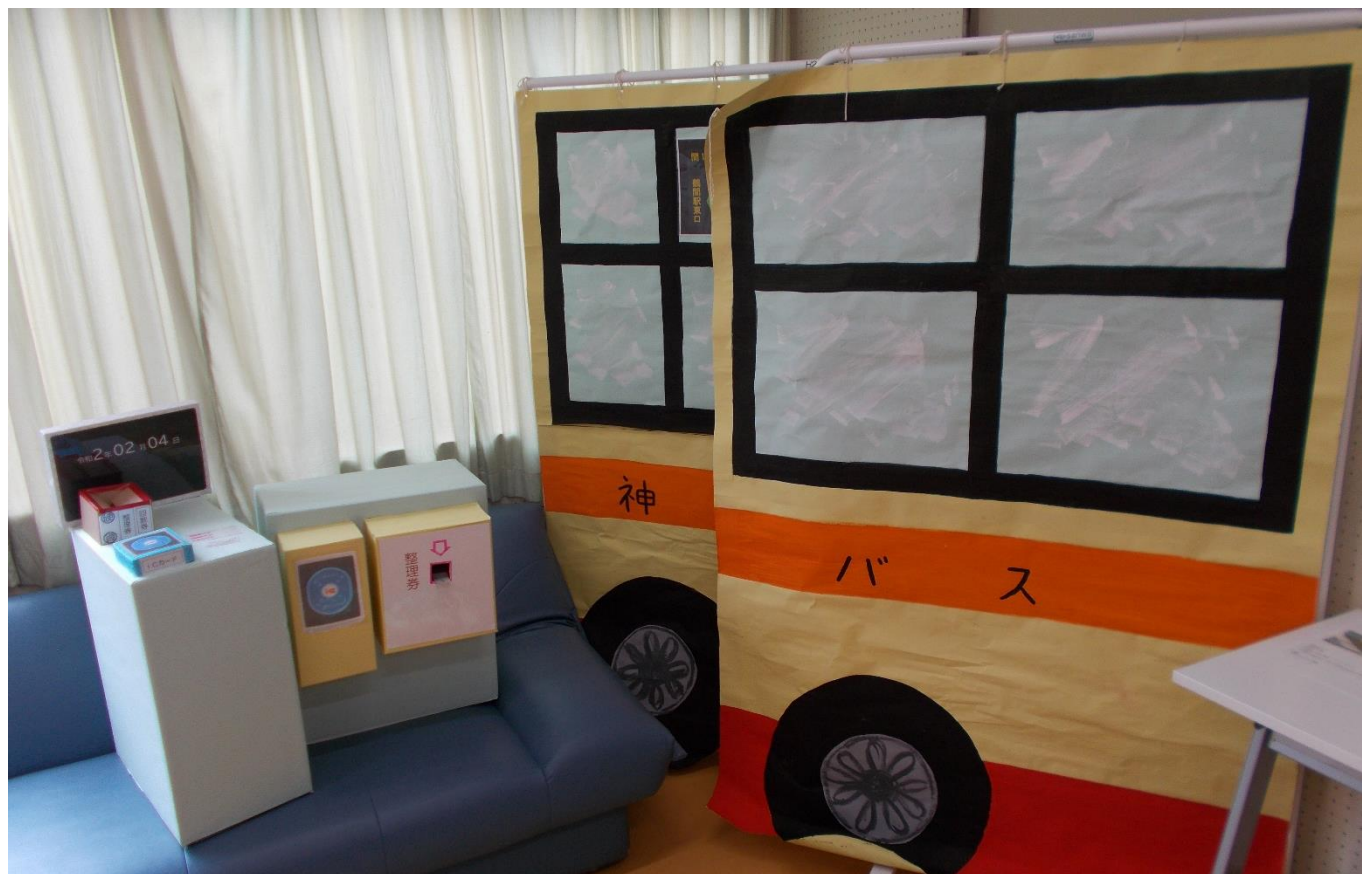


<使ってみてよかったところ、効果>

- ・紐を引っぱったら開く、という仕組みが子どもにとってわかりやすいため、とても盛り上がった。
- ・簡単に紐を引くことができるため、だれにでもできた。

教材教具名	バスの乗り方	分類	授業
		授業名	社会 (中学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バスの乗り方を知る。</li> <li>• バスに乗る練習をする。</li> </ul>		

教材教具の概要



<使用方法>

• バスの絵をパーテーションに付け、その向こう側にバスと同じような配置で、乗降口・座席等を机や椅子で設置する。生徒がICカードの読み取りに触れたと同時に笛を鳴らす。

<材料>

• 段ボール箱、模造紙、ラミネーター

<工夫点>

• 余計な刺激は極力なくしつつも、リアルに近い形でバス乗降の練習ができるように作成した。

<使ってみてよかったところ、効果>

• 教室で何度も練習を重ねてから、実際のバスに乗ることができたので、生徒たちはとてもスムーズにバス乗降ができていた。

教材教具名	模擬歩行者信号セット	分類	授業
		授業名	社会（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自力通学」に向け、歩行者信号を見て、止まったり歩き始めたりできるようになる。</li> </ul>		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ 模擬横断歩道シートの前に立たせ、シートの反対側で教員が持つ iPad に映る、信号練習用動画の画面が赤信号から青信号になったら、自分で判断して、シートの上を歩き始める。

<材料>

- ・【横断歩道】ビニールシート、色布ガムテープ（白・銀）
- ・【歩行者信号】 桑びよんの特別支援教育 <https://kuwapyon.net/> から、「歩行者横断用信号練習用動画」

<工夫点>

- ・ 信号の練習を繰り返し行うため作製した。ビニールシートに色布ガムテープを貼ることで、安価に作成できた。

<使ってみてよかったところ、効果>

- ・ 信号が赤から青になったら歩き始めることができた。信号動画の映る iPad を持つ教員の視線などで歩き始める生徒もいたので、生徒を見ない（生徒に合図を与えない）ようにした。週に1回の実際の歩行者信号の練習につなげている。

教材教具名	テーブルホッケー	分類	授業
		授業名	LHR (高等部)
ねらい	・多様な生徒と一緒にレクリエーション・スポーツを楽しむ。		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ラケット(制作)でボール(サウンドボール or ウレタンボール)を転がすように打つ。

ゲーム形式

- ・ターゲット型：大テーブルの対面に的を置き、ボールを打って狙う。  
的に点数などを設定して楽しむ。
- ・ネット型：卓球台(大テーブル)に1対1、または複数人数で別れてボールを打ち合う。  
少人数の場合は、テーブルの両サイドに小さな壁を作り、フェンスを作ってもよい。  
(イメージ：エアホッケー)

<材料>

- ・ラケット：段ボール
- ・的：発泡スチロール、プラカップ、人形など
- ・ボール：サウンドボール(公認級)、あまりはねないボール

<工夫点>

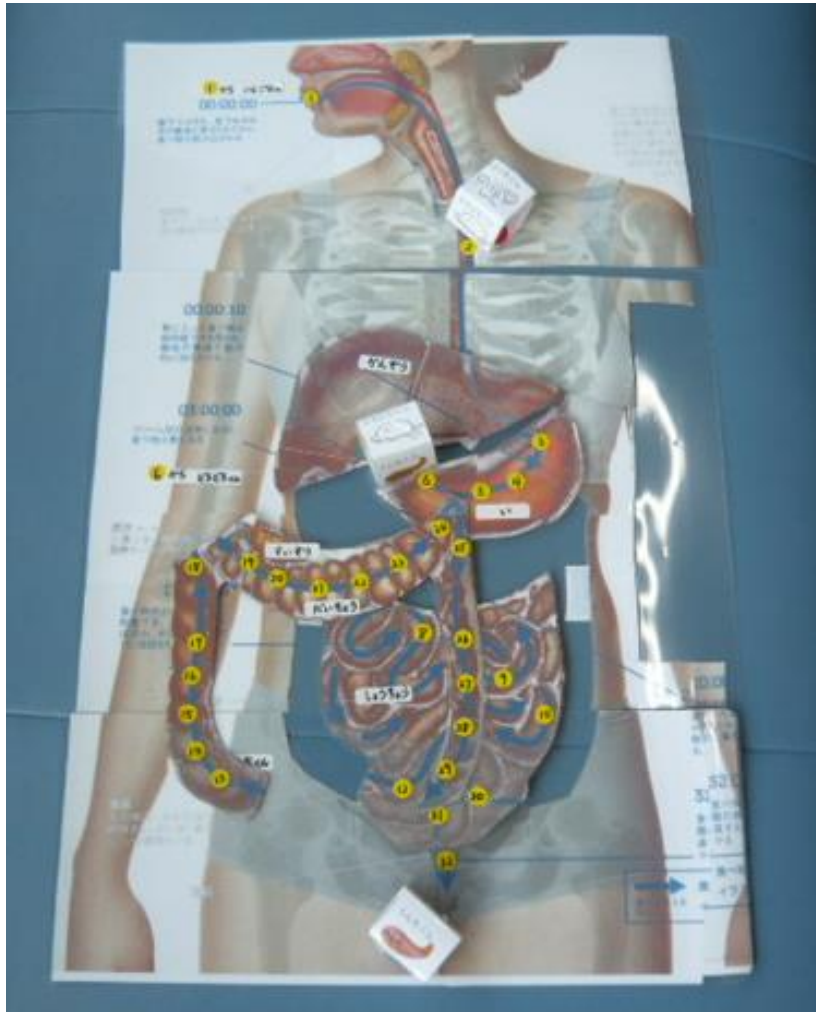
- ・ラケットの大きさは、長編25~30cm程度。片手、または両手でも扱いやすい長さにした。
- ・ラケットを前後・左右の動きだけで扱えるよう、ボールをはねにくいものにした。



令和2年度 教材教具展 (夏季) 冬季)

教材教具名	消化器官 双六	分類	授業
		授業名	社会生活 (高等部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 食物の消化のしくみを楽しみながら学習する。</li> </ul>		

## 教材教具の概要



## &lt;使用方法&gt;

- パズルとして内臓を配置する。(マジックテープでとめる)
- 食べ物の通るコースで、双六をする。

## &lt;材料&gt;

- マジックテープ、ラミネートしたパーツ、さいころ

## &lt;工夫点&gt;

- 双六が進むにつれ、コマの絵を変化させることで、食べ物が姿を変える消化の仕組みを示した。
- 長く食べ物がとどまる所は双六がゆっくり進むようにした。(止まる場所を増やした)
- 同じものを3つ作り、グループに分かれて行えるようにした。

令和2年度 教材教具展 (夏季) (冬季)

教材教具名	ばい菌がついた大きな手	分類	授業
		授業名	LHR～手洗い～（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を受けた日だけではなく、手を洗うことを習慣化させることができる。</li> <li>・視覚的に手にはばい菌があることをわかり、さらに手を洗うごとに白いシールを貼り、ばい菌が減るのが見てわかる。</li> </ul>		

## 教材教具の概要



## &lt;使用方法&gt;

・朝、給食前、トイレの後など手を洗うことができた時、ばい菌がついた大きな手にシールを貼っていく。

## &lt;材料&gt;

・画用紙、大きな手のイラスト、ばい菌イラスト、白いシール

## &lt;工夫点&gt;

・ただの大きな手に貼るのではなく、ばい菌を張り付けることにより、手にはばい菌がついていることを認識させる。

・手洗いをしていく分だけシールを貼ることにより、ばい菌が減り、白いきれいな手になっていくことが視覚的にわかる。

## &lt;使ってみてよかったところ、効果&gt;

・生徒たちが自ら手を洗い、シールを貼るという流れを作ることができた。

・授業だけで終わらず、継続して手洗いをするすることができた。

